

夜の灯りに照らされた天神さまのお庭で、
連歌を詠んでみませんか？

参加無料／事前申込不要／出入り自由／初心者大歓迎

太宰府天満宮 神縁連歌会

かき ぎ れ ん が
かき ぎ れ ん が
かき ぎ れ ん が
かき ぎ れ ん が

日時 令和八年 五月三十日(土) 十八時～二十時

会場 太宰府天満宮境内天神ひろば 絵馬堂

太宰府天満宮 神縁連歌会

か さ ん が

笠着連歌



江戸期の太宰府天満宮での笠着連歌の様子
『筑前歳時記図絵』(部分) 国立公文書館所蔵



笠着連歌の様子

太宰府天満宮の御祭神・菅原道真公(天神さま)は、漢詩や和歌などの詩歌に造詣が深く、長い歴史のなかで連歌の神様としても広く親しまれてきました。

連歌とは、複数の人が上の句(五七五)と下の句(七七)を交互に詠みながら続けていく、日本の伝統的な文芸です。

かつて太宰府天満宮では、さまざまな連歌の奉納が行われていました。その中でも「笠を着たまま(顔を隠して)匿名で句を詠む「笠着連歌」は、通りすがりの人が気軽に参加でき、天神さまへの敬神の心を大切にしながら、自由に詩歌を楽しめる場なのです。

昭和9年(1934)まで、旧暦6月24日の夜8時頃から定例で行われていたこの「笠着連歌」は、令和5年(2023)に89年ぶりに復活し、以来毎年開催しています。

おひとりでも、お友達と一緒にでも、どなたでも自由に参加いただけます。連歌初心者の方には、神縁連歌会の会員がご説明します。提灯の光に照らされた静かな夜の境内で、古より続く文芸の世界に触れながら、天神さまに捧げる言葉を詠んでみませんか？

会員募集

神縁連歌会は、太宰府天満宮における連歌の復興を目指して、昭和62年に有志により発足しました。季節ごとに連歌会を催し、年に2回、天神さまへの奉納を行っています。現在は、令和9年斎行の「菅原道真公1125年太宰府天満宮式年大祭」での千句奉納に向けて実作にも取り組んでいます。初心者大歓迎、お気軽にご参加ください。

定例会：年6回(原則奇数月)、神前奉納(1月初連歌・9月神幸式大祭)、笠着連歌(夏頃)

会場 太宰府天満宮境内 天神ひろば 絵馬堂

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府4-7-1

お問い合わせ：☎ 092-922-8551(午前9時~午後5時) メール kenkyusyo@dazaifutemangu.or.jp

主催 太宰府天満宮神縁連歌会

